

3月に大阪で初めてとなる全員参加型情報交換会を開催

HPにバナーをリンクし、物流情報集積サイト機能を充実



倉庫業青年経営者協議会（倉青協、曾根和光会長）は1月29日、常任幹事会

を開催し、委員会活動や今後の

取り組みについて報告した。曾根体制最後の地方大会となる、3月5日の第136回全体会（大阪大会）では、集大成として全員参加型情報交換会を企画。倉青協ホームページ（HP）にバナーを設け、会員企業のPRなどに活用していくこととした。また、常任幹事会終了後、国土交通省との意見交換会が行われた。

倉青協では会員が150人体制となり、参加意義を高め、より参加しやすい環境の整備に注

力している。その一環として、大阪大会では全員参加型情報交換会（ワールドカフェ方式）を実施。共通の課題を討議することにより、有益な情報収集を目指す。

ワールドカフェ方式は、「経営者が最も創造的かつ自由に会

話する場所は、カフェのような自由空間である」という発想から生まれた情報交換の方法。

全国から幅広い



委員会活動や今後の取り組みについて報告

世代の経営者が集まる倉青協でも、知識や知恵を共有できる同方法に着目した。

「未来を創る倉庫経営者ネットワークとは？」を共通テーマに、①倉庫業を語るゾーン②経営を語るゾーン③行政連携を語るゾーン④未来を語るゾーンに分け、小集団で情報交換しながら移動し、キーワードを直接大きな紙に記入していく方法をとる。

また、2014年度は新HPの運用による倉

青協活動の活性化支援に取り組んできたが、さらなる活性化に向けバナーを作成。倉青協の活動のPRや異業種からのアクセスや会員企業の検索優位性（SEO）向上に役立てる。

会員企業が力を入れている分野を「コラム」として掲載し、企業間の交流や情報交換の活発化を図るとともに、倉青協HPを物流情報集積サイトと機能をより充実させる。関係省庁、OB企業等とのバナーリンクについても検討していく。